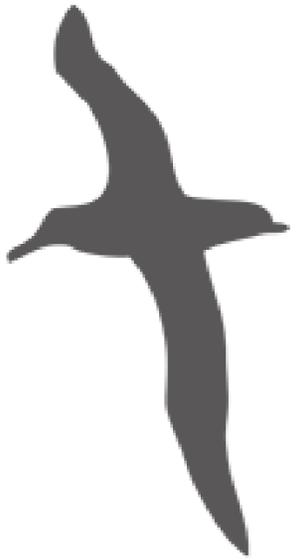


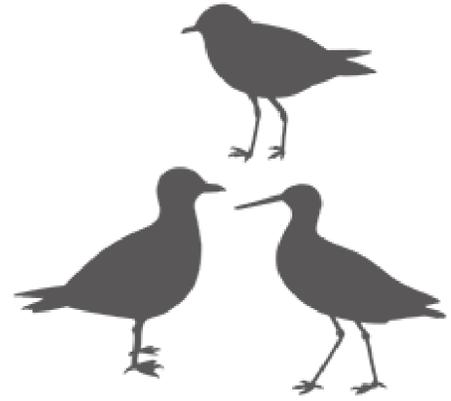
ミズナギドリ目

- ・アホウドリ科 世界に22種、日本に4種
- ・ミズナギドリ科 世界に89種、日本に22種
- ・ウミツバメ科 世界に24種、日本に7種
- ・モグリウミツバメ科 世界に4種、日本には分布しない



翼が長く、あまり羽ばたかずに滑るように飛ぶことができる海鳥です。日本には、大型のアホウドリ科、中型のミズナギドリ科、小型のウミツバメ科の3つのグループが分布します。最近では、モグリウミツバメをミズナギドリ科に含め、ウミツバメ科のうち、アシナガウミツバメに近縁なグループを別の科に分ける説もあります。

チドリ目



- シギ科ヒレアシシギ属 世界に2種、日本に2種
- カモメ科 世界に101種、日本に45種
- トウゾクカモメ科 世界に7種、日本に4種
- ウミスズメ科 世界に24種、日本に16種

動物の死体を好む大型のカモメから、潜水して小さい魚を食べるウミスズメまで、体のサイズや生態が多様なグループです。カモメ科には、小形で翼の尖ったアジサシ亜科と、大型のカモメ亜科の2つのグループが含まれます。トウゾクカモメ科はカモメに似た姿ですが、ウミスズメにより近縁です。

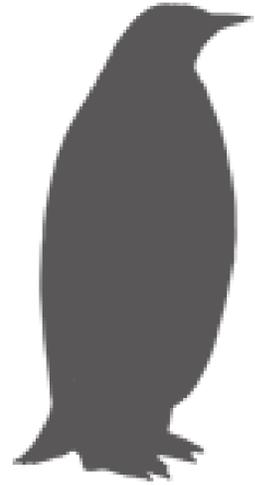
カツオドリ目

- ・カツオドリ科 世界に10種、日本に3種
- ・ウ科 世界に38種、日本に4種
- ・グンカンドリ科 世界に5種、日本に2種



いずれの科も、のど袋があり、4つの指の間全てにみずかきがあることなどから、かつてはペリカン目に含まれていました。しかし、近年、DNAの研究によって異なる系統であることが分かり、別の目に分類されました。カツオドリは飛び込み、ウは潜水、グンカンドリは水面からのすくいとりや他の鳥からの略奪によって餌をとります。

ペンギン目



- ・ペンギン科 世界に18種、日本には分布しない

一目一科のグループです。現生の鳥類では唯一の飛べない海鳥のグループで、南半球に分布します。翼は潜水のために水をかくオールのような形に変形し、全身が短い羽毛で密に覆われています。見た目はチドリ目ウミスズメ科の鳥に似ていますが、最も近縁なのはミスナギドリ目の鳥です。

ネツタイチヨウ目

- ・ネツタイチヨウ科 世界に3種、日本に2種



一目一科の種数が少ないグループです。白い体に長く伸びた尾羽が特徴的な鳥で、世界中の暖かい海に分布します。かつては現在のカツオドリ目の鳥類とともにペリカン目に入れられていましたが、現在では独立の目とされています。どの鳥に近縁かはよく分かっていませんが、カグーやジャンメドリ（ともに陸鳥）に近いといわれています。

ペリカン目



- ・ペリカン科 世界に8種、日本に3種

のど袋のついた巨大なくちばしが特徴的な大型の海鳥です。現在のペリカン目にはサギ科・トキ科なども含まれますが、その中で海鳥とされるのはペリカン科のみです。日本には、繁殖や越冬をする種はおらず、まれに渡来するのみです。

アビ目

- ・アビ科 世界に5種、日本に5種



一目一科の種数が少ないグループで、体の後方についた脚を使って潜水する中型～大型の海鳥です。北半球にのみ分布し、繁殖地は淡水ですが、冬には南下して海上で越冬します。ウヤカイツブリに似た姿ですが、ミズナギドリやペンギンにより近縁です。

カイツブリ目



- ・カイツブリ科 世界に20種、日本に5種

脚に弁状のみずかきがある小型～中型の水鳥です。世界中に広く分布し、淡水の湿地で繁殖しますが、非繁殖期には海上でも越冬します。国内では、カイツブリ以外の4種は海で見られるため、海鳥として紹介します。アビに似ていますが、最も近縁なグループはフラミンゴ目です。